

**製品名: WIPI1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19904**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	WIPI1 WIPI49
別名	WD repeat domain, phosphoinositide interacting 1
遺伝子 ID	55062.0
SwissProt ID	Q5MNZ9
免疫原	WIPI1 の合成ペプチド

**背景**

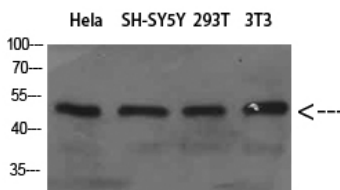
WD リpeatドメイン、ホスホイノシチド相互作用タンパク質 1 (WIPI1) ホモサピエンスこの遺伝子は WD40 リpeatタンパク質をコードしています。WD40 リpeatファミリーのメンバーは、多くの重要な生物学的機能の重要な構成要素です。これらは、同時

かつ可逆的なタンパク質間相互作用のためのβプロペラプラットフォームを提示することにより、多タンパク質複合体の組み立てを制御します。WD40リピートタンパク質のWIP1サブファミリーのメンバーは、7枚羽根のプロペラ構造を持ち、リン脂質と相互作用するための保存されたモチーフを含みます。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq提供、2016年3月]、機能: オートファジーにおいて役割を果たす可能性があります。マンノース-6-リン酸受容体(MPR)リサイクル経路に關与するタンパク質の輸送を制御する可能性があります。、類似性: 3つのWDリピートを含みます。、細胞内局在: ゴルジ体および末梢エンドソームのトランスエレメント。これらのコンパートメントを動的に循環し、膜フラックスを調節する条件の影響を受けやすい。クラスリン被覆小胞に豊富に存在する。、サブユニット: アンドロゲン(AR)およびエストロゲン受容体(ER)と相互作用すると考えられる。in vitroにおいて、PtdIns3Pと結合し、PtdIns3,5P2およびPtdIns5Pにも結合する。PtdIns3Pとの相互作用は膜へのリクルートメントに必要である。、組織特異性: 普遍的に発現する。骨格筋、心臓、精巣、脾臓、胎盤で高発現する。G361、Sk-mel-28、Sk-mel-13、WM852、WM451細胞で高発現する。様々な腫瘍組織で発現が上昇する。、

## 研究分野

シグナル伝達; タンパク質輸送; ゴルジ体タンパク質; がん; シグナル伝達; オートファジー; 代謝; 経路とプロセス; 代謝プロセス; オートファジーとミトファジー; シグナル伝達; 神経科学

## 画像データ



WIP1ポリクローナル抗体(1:800希釈)を用いたHeLa SH-SY5Y 293T 3T3細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。